



ゆづりは

堺市立図書館だより

第8巻 第3号 (通巻29号)
 発行日 平成25年 12月10日
 編集・発行 堺市立中央図書館
 〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1
 電話 072(244)3811
 Fax 072(244)3321
 URL <http://www.lib-sakai.jp/>

2013・第67回読書週間(10/27~11/9) 行事報告

読書週間の期間中、図書館では、「堺っ子読書フォーラム」、「南図書館おたのしみフェア」、「北図書館フェスタ」などの行事を開催しました。



行事開催には、多くのボランティアの皆様のご協力をいただきました。ご協力ありがとうございました。

10/27「堺っ子読書フォーラム」の様子

第1部は、子ども読書活動の推進に関わる関係者による家庭・地域・学校等での取り組みの実践報告やボランティアによるおはなしの実演など。

第2部は、児童文学作家の村中李衣さんによる講演会が行われました。



11/2・3「南図書館おたのしみフェア」の様子

当日のプログラム

「みんなで楽しもう! えほんライブ」
 「堺歴史文化市民講座
 『南区の歴史こぼれ話』」
 「知的書評合戦『ビブリオバトル
 in 南図書館』」
 「人形劇」「えほんのひろば」
 「おりがみのひろば」など



11/9・10「北図書館フェスタ」の様子

当日のプログラム

「わたしの学び発表会」
 「堺歴史文化市民講座
 『竹内街道を歩いて10年』」
 「おはなし大会」
 「作ってみよう! バルーンアート!」
 「絵本のよみかせ」
 「ピエロのあしあと〜ジャリッ〜」
 「人形劇」など



分館に新しい本が増えています!

現在、東百舌鳥、初芝、梅、美木多の各分館では、時代小説など定番のロングセラー本や、旅行ガイドブックなど皆様によくご利用いただいている分野の本を重点的に新しくしています。今後も魅力的な本棚をめざし、分館の資料の充実に努めてまいりますので、ぜひご来館ください。



初芝分館の様子

東百舌鳥分館の様子

目次

2013・第67回読書週間行事報告	… 1
分館に新しい本が増えています!	… 1
より快適な読書のためのサービスをご紹介します	… 2
障がい者向け新サービスのご紹介	… 2
「堺市子ども文庫連絡会」内閣府「チャイルド・ユースサポート章」受章	… 2
シリーズ堺の〇〇「堺市民新聞」	… 2
この本で解決! ~堺の地名についてあれこれ~	… 3
電子メールで受付『E-レファレンス』もどうぞ	… 3
堺かるた いろはの「お」	… 3
司書のイチ押し! 『蒲生邸事件』『ねじの回転』	… 4
わたしの“とっておきの一冊” その16	… 4
堺市立図書館電話番号一覧	… 4

ゆづりは

とは・・・

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
 ゆづりゆづりて 譲り葉の
 ゆづりしあとに また新しく

この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だより「ゆづりは」と名づけました。



より快適な読書のための サービスをご紹介します

WANPUG

大活字本

〈大活字本コーナー〉

視力の低下や、高齢などで本の文字が読みづらい方のために、「大活字本」が出版されています。

一般の単行本・文庫本の文字より、文字が大きく読みやすくなっています。

堺市立図書館では、大活字本を約 3,100 冊所蔵し、各図書館の大活字本コーナーでご覧いただけるほか、中央図書館所蔵の大活字本を市内各図書館で巡回展示（「大活字本ブックフェア」）し、有効活用しておりますので、どうぞご利用ください。



障がい者向け新サービスのご紹介



WANPUG

堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センターと連携して新しいサービスを実施しています。

① 聴覚障害者の方へ

視覚・聴覚障害者センターから借りた字幕入り DVD 等について、市内各図書館、分館の窓口へ返却できるようになりました。ただし、返却ポストには入れないでください。

② 視覚障害者の方へ

図書館所蔵の視聴覚資料（音楽・落語 CD 等）を、視覚・聴覚障害者センターを通じて、郵送で借りることができるようになりました。利用方法は下記センターへお問い合わせください。

堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター
TEL 275-5024
FAX 243-2222

シリーズ 堺の〇〇

『堺市民新聞』

毎月各家庭に配布され、すっかりおなじみの『広報さかい』一。今回はその『広報さかい』のはじまりをご紹介します。

『広報さかい』は昭和 24 年 3 月に『堺市民新聞』として創刊されました。当時の GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）の指導のもと、民主化を進めるために発行されることになったようです。初めのうちは、郷土史家の松本壮吉氏に委嘱されました。

創刊のあいさつには「市民の、市民による、市民のための政治…それを実現するために仲介の労を取る機関が必要である。」そのために「本紙の創刊を思い立った」と書いてあります。

創刊号の最初の記事は「市民の足をどうしてくれる一もっともっと交通を便利にして貰えない」



だろうか一市当局と記者の一問一答」でした。

それから 10 年後、昭和 34 年 1 月に名称が現在の『広報さかい』に変わりました。「新聞とは可成り違った内容や性格のもののなので」と改題の理由が述べられています。平成

25 年 12 月号は 753 回目になります。紙面も創刊時は 1 枚表裏 2 面だけだったものが、24 面へと内容豊富になっています。

『堺市民新聞』『広報さかい』複写版のバックナンバーは創刊号から中央図書館でごらんいただけます。

参考文献

『堺市民新聞』複写版 堺市／発行
『広報さかい』複写版 堺市／発行

この本で解決！

～堺の地名についてあれこれ～

堺には実にいろいろな地名があり、地名の由来に関するご質問もよくいただきます。今回はその中から3件をご紹介します。

Q. 仁徳天皇陵でおなじみの“百舌鳥（もす）”の地名の由来を知りたい。

A. 『むかしの堺』（堺児童文化振興会）P.20 に「日本書紀に次のような話が載せられています。仁徳天皇の御陵をつくりはじめた日に、走ってきたシカが急に死に、シカの耳からモズがとびさりました。しらべてみると、シカの耳のなかは、すっかりモズにぐいさかれていたのです。この小さなモズの勇ましいはたらきをたたえて、この土地を百舌鳥耳原とよぶことにしました」とあります。

Q. 現在町名としては残っていないが、バス停名で残っている“川尻”（南海本線堺駅周辺）の由来を知りたい。

A. まず、“川尻”の位置ですが、『堺市史 第3巻』（堺市役所）P.152 に「大町と宿院町との間の中浜筋より西住吉橋迄」とあります。

『堺の地名と町名』（新南大阪新聞社）P.5 に「住吉頓宮の周囲のケリヤタラリ川という川は、頓宮の前面で落ち合いそのまま西（今日の内川）へ注いでいた。…この川の川尻であったのが地名となったものである」とあります。

Q. 田出井町（阪和線堺市駅周辺）の地名の由来を知りたい。

A. 『堺の地名と町名』（新南大阪新聞社）P.12 に「田出井町」の項目がありました。この資料は『南大阪新聞』で昭和47年11月から48年7月まで連載されていた記事のコピー複製本で、「田出井町」は昭和48年3月21日号に掲載されています。それによると、「神功皇后がこの地で方違いの神事を行った時、神に供える水を得るため、鉾で土地を掘ったところ、清泉が湧き出した。その井戸を盾で蓋をしたのでこれを盾井（たてい）と称するようになり、付近の地名にもなった。…『田出井』と書くようになったのは近年である」とあります。

電子メールで受付「E-レファレンス」もどうぞ

電子メールで受け付ける調べもの相談『E-レファレンス』もありますので、どうぞお気軽にご利用ください。

The image shows the Sakai Municipal Library website. The header includes the library's name in Japanese and English, and a navigation bar with links for '小' (Children), '中' (Teenagers), and '大' (Adults). A search bar is present. The main content area is titled '調べもの' (Research) and lists various services: '図書館で解決！?' (Solve it at the library!), 'レファレンス事例集' (Reference case studies), '調べもののリンク集' (Link collection for research), 'E-レファレンス' (E-Reference), and '各種ブックリスト' (Various book lists). A sidebar on the right lists '平成25年度第4回 堺歴史文化市' (Sakai History and Culture City 2013) events, including a lecture on disaster preparedness and a book fair.

堺かるた - いろはの「お」 「おとにきく 浜寺公園 松ばやし」

現在の浜寺から高石あたりまでの海岸は、高師の浜と呼ばれていました。

その浜は、『万葉集』に、
「おおとの 高師の浜の 松が根を
まくらきぬれど 家ししのばゆ」と詠まれるなど松が有名で、古くから白砂青松と知られていました。江戸時代の『和泉名所図会』にも、高師の浜の松林が描かれています。

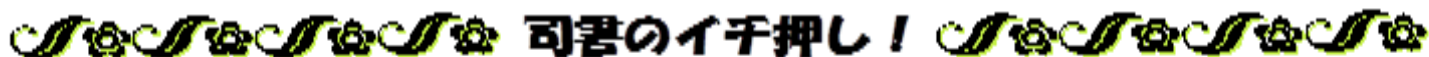
明治6年、太政官布告により、わが国最初の公園の一つに指定され、浜寺公園になりました。

近くには、100年以上の歴史がある浜寺水練学校や国の登録有形文化財である南海浜寺公園駅舎などがあり、歴史を感じさせてくれます。



参考文献

- 『むかしの堺』 別所やそじ・尼見清一／共著 あかがね文庫
『万葉集（一） 日本古典文学全集2』 小学館
『和泉名所図会』 柳原書店
『浜寺公園 ぐるり歴史散歩』 財団法人 大阪府公園協会



『蒲生邸事件』 宮部みゆき／著 講談社

『ねじの回転』 恩田陸／著 集英社

社会派小説、時代小説から青少年向きノヴェルまで、多才な執筆で人気の宮部みゆき、一方、独自の小説世界を展開する恩田陸。両者が共通のテーマとして、取り上げた事件が二・二六事件であり、タイムスリップだ。

雪が降る季節になると、毎年のように二・二六事件がドラマ化される。何故、巨大なアメリカに戦いを始めたのか。第一次世界大戦後の不況、株価暴落、取り付け騒ぎ、関東大震災、世界恐慌と歴史の大きな渦に飲み込まれていく日本は、満州事変等、軍主導による打開へと進んでいくのである。血気盛んな青年将校たちは、天皇親政を信奉し、決起したのであった。「蒲生邸事件」宮部みゆきと、「ねじの回転」恩田陸は、大善をなすのだと、事を進める青年将校の気迫、テロ事件が起きる緊迫感に迫り、一気に読み終えてしまう作品である。

『蒲生邸事件』 宮部みゆき

予備校受験に上京した・孝史。孝史の宿泊先平河町一番ホテルが火災に見舞われる。孝史は、危機一髪見知らぬ男の後を追ひ、助けられる。いきついた先は、昭和11年2月26日、同じ場所に建っていた陸軍大将蒲生憲之の邸宅前だった。男はタイムトラベラーであり、タイムスリップしてしまったのだ。今まさに二・二六事件が起ころうとする緊迫した状況の中、孝史の行動は、……。本作品は、日本SF大賞受賞作。

『ねじの回転』 恩田陸

近未来。人類は絶滅の危機に直面していた。悲惨な未来を回避するために国連から派遣されたマツモト、他数名のスタッフ。そこは、歴史を遡って、1936年2月26日、東京。国連は、この事件を日本の転換点とみなし、介入点ともみなしたのだ。安藤大尉たちは対象に選ばれるが、昭和維新を成功させようとする彼らの思惑が意図した方向とは違った展開へ。不一致、リセット、進む時間。はたして歴史は修復できるのか。

【参照】『二・二六事件』（広辞苑 第六版 岩波書店より引用）

1936年（昭和11）2月26日、陸軍の皇道派青年将校らが国家改造・統制派打倒目指し、約1500名の部隊を率いて首相官邸などを襲撃したクーデター事件。内大臣斎藤実・大蔵大臣高橋是清・教育総監渡辺錠太郎らを殺害、永田町一帯を占拠。翌日戒厳令公布。29日に無血で鎮定。事件後、粛軍の名のもとに軍部の政治支配力は著しく強化された。

参考文献

『あの戦争は何だったのか』 保阪正康／著 新潮社

わたしの“とっておきの一冊”
その16

今回は、図書館に職場体験学習に来られた赤坂台中学校の生徒さんのおすすめの本です。

◆『河童が覗いたインド』 妹尾 河童／著

この本は、著者の河童さんがインドを旅行した時の体験が書かれています。印刷文字ではなく、すべて手描きなので、本というよりも日記を読んでいるようです。スラスラ読めるので本が苦手な方にもおすすめです。インドに行きたくくなりますよ！



堺市立図書館電話番号一覧

音声応答サービス	280-0415	東図書館	235-1345	北図書館	258-6850
中央図書館	244-3811	初芝分館	286-0071	美原図書館	369-1166
くすのき号	244-3811	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター図書ホール	245-2534
堺市駅前分館	222-0140	南図書館	294-0123	青少年センター図書室	228-6331
中図書館	270-8140	梅分館	296-0025	ホームページ URL	http://www.lib-sakai.jp
東百舌鳥分館	234-9600	美木多分館	296-2111	携帯ホームページ URL	http://www.lib-sakai.jp/m/

